

# 新しいニーズに合わせた 良質な医療を目指して

さっぽろ香雪病院



緑あふれる自然に囲まれた札幌市清田区真栄。そこに、さっぽろ香雪病院がオープンしたのは、平成2年です。この間に精神科医療のありかたは、大きく変わってきました。さっぽろ香雪病院ではオープン以来、常に良質な医療の提供を追い求めてきました。

## ◆快適なアメニティ

良質な医療の提供にはハード面、ソフト面の整備が必要とされます。ハード面では、平成7年・平成10年と2度の増改築を行い、急性期治療に適應できるアセスメント病棟、精神療養病棟、老人性痴呆疾患療養病棟と、病棟を機能分化し、快適で過ごしやすい療養環境の整備を行い、アメニティの向上に努めてきました。

病棟の窓には、もちろん鉄格子はありません。光あふれるデイルームは入院患者さんたちの憩いの場です。ミニ体育館を模した作業療法室では、スポーツに汗を流す姿や、歓声が絶えません。中庭では、車椅子の方も陽なたほっこしています。

「自然に恵まれ、明るくきれいな病院ですね」と、来院された方々には好評です。



## ◆充実したチーム医療

ソフト面では、診療科を従来の精神科・神経科・内科・歯科の他に、ストレスによる心身症や、自律神経失調症などの多様なニーズに適應できるように、平成12年度から心療内科を開設しました。

また、スタッフの充実にも力を入れました。常勤医師は11名。精

神科医のみならず、内科医、外科医も常勤しています。合併症のある患者さんには、医師間で互いにフオーロ―しあっています。看護部では、「患者さんの尊厳を重んじる」ことをモットーに、精神科看護について研鑽しています。薬剤師・栄養士は積極的に外来患者さんや入院患者さんに必要な指導をしています。心理士は集団

療法やカウンセリングを行い、作業療法士は多種多様な作業療法やレクリエーションを展開しています。精神医学ソーシャルワーカーも、様々な相談に対応しています。すべてのスタッフが常にチーム医療を念頭に置いています。

精神医療は、今、急激な変化を求めています。それに対応すべく、院内外での教育研修活動も、幅広く行われています。

## ◆リハビリで生活を支援

入院治療だけが、精神科医療ではありません。精神障害を抱えた方が、その方らしく生活できるように、リハビリテーションも必要とされています。

入院患者さんを対象とした作業療法・集団療法・レクリエーションのメニューは豊富で、一人の患者さんが複数の種目に参加しています。

退院後は、精神科デイケアに通所して、規則正しい生活を送るよう心がける方が増えてきています。訪問看護では、普段の生活に困っていることの相談を受け、ストレスが溜まらないよう、指導していきます。患者さんのみならず、ご家族のこ



ころのリハビリテーションも必要です。今年度から、ご家族の勉強会・交流会としての「家族セミナー」を開催しています。

## ◆「五風会」の基本理念

さっぽろ香雪病院は、平成6年に医療法人となり、法人名を、社会が理想的に平和である状態を指す、五風十雨にちなんで「五風会」と名づけました。

医療法人五風会の基本理念は  
1 わたしたちは深い愛と思いやりの心で潤いのある医療を大切にします。

2 わたしたちはチーム医療を実践し、より専門性を究め良質で適正な医療を提供します。  
3 わたしたちは社会の平和を願い奉仕の精神で地域社会に開かれた病院づくりをめざします。としていきます。

理念と実践は両輪として機能していかねばなりません。社会や家庭に戻るまで、いかに快適に療養生活を過ごしていただけたか、そして、社会や家庭でも快適な生活が出来るよう、さっぽろ香雪病院では医療・介護・福祉の機能を総合的に集約し、新しい時代のニーズにお応えします。



## 診療案内

当院の外来には、いろいろな症状に悩まされ、幅広い年齢層の方が受診されます。

- 夜なかなか寝付けない
- 何日もやる気が起きない
- イライラして周囲にあたってしまう
- 体調が悪いが、検査しても原因不明
- 学校や会社に行けない
- 周囲の目が気になる
- 他人には聞こえない声が聞こえる
- お酒、薬物が止められない
- いくら食べても気がすまない
- 物忘れがひどくなった

このような症状が続き、日々の生活が辛い方、あるいはこのような方が身近にいる場合、専門の医師らが相談、診察、診断、治療にあたります。また、ご本人の来院が難しい場合も相談に応じます。

心の病は特別な病気ではなく、誰もが潜在的に抱えていて、どんな人でもかかってくる病気です。ひとりで悩まずに、どうぞお気軽にご相談ください。